

少子化社会へ向けて

子育て環境日本一の京都府へ

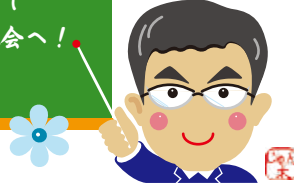
人口減少は日本の大きな課題です。平成元年と比べ京都府の合計特殊出生率は1.46から1.31へ、出生数は24,855人から18,521人へ、15歳未満の人口は3割以上減少しており速やかな対策が必要です。

- ・親世代の仕事と生活のバランスの向上
- ・第3子の保育料無償化
- ・子どもの教育環境の充実
- ・待機児童対策
- ・児童虐待対策



堤じゅん太の想い

子どもから高齢者まで
安心して暮らせる社会へ！



超高齢化社会へ向けて

認知症の方も安心な地域へ

高齢化社会に向けて、年をとっても安心して地域で暮らすことのできる仕組みづくりが必要です。特に認知症の高齢者に優しいまちづくりは当事者の方だけでなく、高齢世代を支える現役世代の問題でもあります。現役世代が安心して働くことができる環境整備を求めてきました。

- ・徘徊する認知症の方を発見・保護するためのSOSネットワークを構築
- ・任意で情報登録する「事前登録制度」の導入
- ・認知症の医療とケアを包括的に提供する京都認知症総合センターの設置



子ども達の未来へ向けて

プログラミング教育の実現

これからの社会を生きる子ども達は、パソコンを始めとするICT技術を使いこなさなければなりません。

SNSのLINE社と提携して、2019年度より全国に先駆けたプログラミング教育を長岡京市内の小学校で実施実現へと漕ぎつけました。

授業時間数も2020年度より施行される新学習指導要領で定める時間数の6倍の、年間12コマを確保。プログラミング教育の全国モデルになります。



ライン社との打ち合わせの様子

孤立させない社会へ向けて

幅広い世代の脱ひきこもり支援

ひきこもりが今、大きな社会問題として認識されています。ひきこもりは若い世代の問題と思われがちですが、実態は30~40代以降にも多くの方がひきこもりで悩んでいます。

社会とのつながりは実りある人生に必要不可欠であり、脱ひきこもり支援を求めてきました。

- ・脱ひきこもり支援事業費 1億2,100万円確保
- ・実態調査を行い現状を把握
- ・若い世代だけでなく中高年も支援の対象に
- ・脱ひきこもり支援センター設置
- ・教育局単位における学校での不登校・ひきこもり対策を強化

京都府議会議員 堤じゅん太プロフィール

1978年6月25日生まれ
 京都大学総合人間学部 卒業
 長岡京市の民間企業 勤務
 2009年 長岡京市議会議員 初当選
 2015年 京都府議会議員 初当選
 現在1期目
 趣味・特技：料理・旅行・茶道



ご相談はお気軽に **堤じゅん太事務所** まで

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目2-9 小池マンション南棟1-A
TEL: 075-323-7890 FAX: 075-323-7430 E-mail: info@t-junta.com

